



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 兼房株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 5984 URL <https://www.kanefusa.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）磯谷 岳摩
問合せ先責任者 （役職名）取締役 常務執行役員 （氏名）佐築 賢治 TEL 0587-95-2821
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	9,777	△2.9	435	10.3	414	181.4	299	659.6
2025年3月期中間期	10,064	△0.7	394	△40.4	147	△85.7	39	△94.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △853百万円（－％） 2025年3月期中間期 1,970百万円（39.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	21.57	—
2025年3月期中間期	2.84	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		％
2026年3月期中間期	36,717		29,459		80.2
2025年3月期	38,469		30,556		79.4

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 29,459百万円 2025年3月期 30,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	7.50	—	17.50	25.00
2026年3月期	—	7.50			
2026年3月期（予想）			—	10.00	17.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	20,000	△1.1	1,000	33.7	1,000	41.4	700	△28.9	50.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	14,310,000株	2025年3月期	14,310,000株
2026年3月期中間期	410,042株	2025年3月期	409,962株
2026年3月期中間期	13,900,034株	2025年3月期中間期	13,900,038株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、ウクライナ・中東情勢などの地政学的リスクや中国経済の低迷、米国の関税政策による貿易摩擦の影響など不透明感は拭えないものの、各国の金融緩和政策やAI関連投資の増加などから底堅く推移しました。わが国経済におきましては、人手不足の深刻化や人件費の上昇、エネルギー価格・原材料費の高止まりなどの影響を受け、景気回復は力強さを欠く状況です。

このような状況のもと、当社グループは生産性の維持・向上、国内非住宅関連市場の開拓や海外の売上拡大などを目指し、戦略的な製品開発・生産・営業活動を展開しました。国内における売上は、住宅関連刃物が前年同期から減少しましたが、非住宅関連刃物の販売拡大により前年同期から増加しました。海外での売上は、欧州向けが増加しましたがアジアや米州向けなどが減少し、当中間連結会計期間の売上高は97億7千7百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

利益面につきましては、中国営業拠点閉鎖などにより販売費及び一般管理費が減少したことなどから、営業利益は4億3千5百万円（前年同期比10.3%増）となりましたが、営業外費用として為替差損を4千3百万円計上したことなどから、経常利益は4億1千4百万円（前年同期比181.4%増）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は2億9千9百万円（前年同期比659.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向けでは非住宅関連刃物が増加したものの、海外向けでは鉄鋼関連刃物が減少したことから、売上高は75億6千3百万円（前年同期比0.5%減）、原材料・人件費などのコストアップから、営業利益は8千9百万円（前年同期比50.1%減）となりました。

② インドネシア

木工関連刃物および製紙関連刃物などが減少したことから、売上高は17億6千2百万円（前年同期比10.5%減）となりましたが、減価償却費の減少などにより原価率が良化したことから、営業利益は1億3千1百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

③ 米国

鋼管関連刃物および自動車関連刃物が増加し、現地通貨ドル建て売上高は前年同期比で増加となりましたが、円換算額では円高ドル安が進み、売上高は10億9千3百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は3千6百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

④ 欧州

木工関連刃物が増加したことから、売上高は10億7千2百万円（前年同期比2.8%増）となりましたが、広告宣伝費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は1千1百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

⑤ 中国

木工関連刃物などが減少したことから、売上高は8億3千万円（前年同期比9.0%減）となりましたが、前年の事業構造改革が功を奏し、営業利益は1千5百万円（前年同期は1億1千9百万円の営業損失）となりました。

⑥ ブラジル

木工関連刃物および製紙関連刃物が増加し、現地通貨レアル建て売上高は前年同期比で増加となりましたが、円換算額では円高レアル安が進み、売上高は3億7千7百万円（前年同期比2.1%減）、営業損益は1百万円の損失（前年同期は5千5百万円の営業利益）となりました。

⑦ ベトナム

鋼管関連刃物が増加し、売上高は6億2千8百万円（前年同期比6.2%増）となりましたが、減価償却費の増加などにより原価率が悪化したことから、営業利益は1千1百万円（前年同期比52.4%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間期末における流動資産は195億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6千3百万円減少いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が2億3千6百万円減少し、現金及び預金が1億8千万円減少したことなどによるものであります。固定資産は171億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億8千8百万円減少いたしました。これは有形固定資産が前連結会計年度末に比べ10億4千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は367億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億5千2百万円減少いたしました。

(負債)

当中間期末における流動負債は33億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7百万円減少いたしました。これは主に流動負債その他が3億5千7百万円減少し、未払法人税等が2億9千2百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は39億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4千7百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億3百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は72億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千5百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間期末における純資産合計は294億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9千6百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が11億6千4百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.2%（前連結会計年度末は79.4%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億8千万円減少し、当中間期末には78億8千万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9億7千万円（前年同期比35.5%減）となりました。収入の主な内訳は、減価償却費8億3千8百万円、税金等調整前中間純利益4億6百万円であります。支出の主な内訳は、法人税等の支払額3億3千9百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億3千万円（前年同期比67.6%減）となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出6億1千5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億6千4百万円（前年同期は16億5千6百万円の収入）となりました。これは、主として配当金の支払額2億4千3百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,061,031	7,880,974
受取手形及び売掛金	3,077,516	2,961,070
電子記録債権	705,505	616,810
商品及び製品	3,483,904	3,568,534
仕掛品	1,209,137	1,224,306
原材料及び貯蔵品	3,095,574	2,859,177
その他	618,647	480,414
貸倒引当金	△17,985	△21,430
流動資産合計	20,233,332	19,569,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,684,981	6,252,628
機械装置及び運搬具（純額）	5,012,244	5,170,059
その他（純額）	4,469,674	3,699,194
有形固定資産合計	16,166,900	15,121,883
無形固定資産	974,283	879,543
投資その他の資産	1,094,974	1,145,747
固定資産合計	18,236,158	17,147,174
資産合計	38,469,490	36,717,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,184,089	1,296,895
電子記録債務	223,577	280,210
1 年内返済予定の長期借入金	199,399	198,546
未払法人税等	375,689	83,471
賞与引当金	355,375	328,313
その他	1,498,900	1,141,605
流動負債合計	3,837,031	3,329,043
固定負債		
長期借入金	2,996,700	2,893,160
退職給付に係る負債	159,328	150,540
資産除去債務	435,814	397,664
その他	484,470	487,423
固定負債合計	4,076,313	3,928,788
負債合計	7,913,345	7,257,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	22,703,611	22,760,129
自己株式	△208,939	△208,993
株主資本合計	26,805,062	26,861,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,121	300,134
為替換算調整勘定	3,465,163	2,300,316
退職給付に係る調整累計額	△12,203	△2,777
その他の包括利益累計額合計	3,751,082	2,597,673
純資産合計	30,556,144	29,459,199
負債純資産合計	38,469,490	36,717,031

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
売上高	10,064,909	9,777,380
売上原価	7,098,041	6,839,615
売上総利益	2,966,867	2,937,765
販売費及び一般管理費	2,572,286	2,502,566
営業利益	394,581	435,198
営業外収益		
受取利息	31,522	34,584
受取配当金	13,353	13,423
その他	7,118	11,153
営業外収益合計	51,994	59,161
営業外費用		
支払利息	43,693	33,337
為替差損	254,842	43,941
デリバティブ評価損	211	2,303
その他	542	317
営業外費用合計	299,289	79,899
経常利益	147,286	414,460
特別利益		
固定資産売却益	1,538	2,169
特別利益合計	1,538	2,169
特別損失		
固定資産売却損	110	433
固定資産除却損	1,663	9,230
特別損失合計	1,773	9,664
税金等調整前中間純利益	147,051	406,964
法人税等	107,588	107,196
中間純利益	39,463	299,768
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	39,463	299,768

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	39,463	299,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,313	2,012
為替換算調整勘定	1,911,724	△1,164,847
退職給付に係る調整額	△10,908	9,425
その他の包括利益合計	1,931,129	△1,153,409
中間包括利益	1,970,592	△853,640
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,970,592	△853,640
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	147,051	406,964
減価償却費	895,126	838,749
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51,919	△24,313
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,941	4,952
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,323	15,753
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△22,348	△24,942
受取利息及び受取配当金	△44,875	△48,007
支払利息	43,693	33,337
為替差損益 (△は益)	346,835	△45,820
固定資産売却損益 (△は益)	△1,428	△1,735
売上債権の増減額 (△は増加)	665,416	3,644
棚卸資産の増減額 (△は増加)	136,301	△102,338
仕入債務の増減額 (△は減少)	△700,587	275,883
未払又は未収消費税等の増減額	146,836	26,646
その他	143,526	△63,088
小計	1,681,363	1,295,683
利息及び配当金の受取額	44,875	48,007
利息の支払額	△45,051	△33,571
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△176,199	△339,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,504,988	970,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	183	—
有形固定資産の取得による支出	△1,927,733	△615,029
有形固定資産の売却による収入	2,818	6,192
有形固定資産の除却による支出	△1,640	—
無形固定資産の取得による支出	△10,383	△9,501
投資有価証券の取得による支出	△5,381	△9,000
投資有価証券の売却による収入	—	1,800
貸付けによる支出	△3,698	△5,850
貸付金の回収による収入	301	1,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,945,534	△630,273
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△101,353	△99,353
リース債務の返済による支出	△34,051	△22,208
自己株式の取得による支出	—	△54
配当金の支払額	△208,500	△243,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,656,094	△364,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	169,448	△155,608
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,384,997	△180,057
現金及び現金同等物の期首残高	5,542,595	8,061,031
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,927,593	7,880,974

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自2024年 4 月 1 日 至2024年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント							
	日本	インド ネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	1,929,232	1,301,106	200,009	363,111	333,831	91,936	20,154	4,239,384
精密刃具類	1,717,459	80,709	128,557	19,613	19,619	—	5,618	1,971,576
丸鋸類	3,609,650	536,297	850,529	658,478	549,520	286,566	565,794	7,056,836
商品他	341,882	52,049	22,670	1,947	9,150	6,605	239	434,544
顧客との契約 から生じる収益	7,598,224	1,970,162	1,201,766	1,043,150	912,121	385,108	591,807	13,702,341
外部顧客への 売上高	5,116,409	1,170,185	1,201,766	1,043,026	445,425	385,108	76,727	9,438,650
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,481,814	799,977	—	124	466,695	—	515,080	4,263,691
計	7,598,224	1,970,162	1,201,766	1,043,150	912,121	385,108	591,807	13,702,341
セグメント利益 又は損失(△)	180,253	88,879	96,428	14,620	△119,186	55,141	23,390	339,527

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	50,859	4,290,243	△949,199	3,341,044
精密刃具類	40,890	2,012,467	△149,441	1,863,025
丸鋸類	525,537	7,582,373	△2,869,559	4,712,813
商品他	9,061	443,606	△295,581	148,025
顧客との契約 から生じる収益	626,349	14,328,691	△4,263,781	10,064,909
外部顧客への 売上高	626,259	10,064,909	—	10,064,909
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	4,263,781	△4,263,781	—
計	626,349	14,328,691	△4,263,781	10,064,909
セグメント利益 又は損失(△)	31,662	371,189	23,391	394,581

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額23,391千円には、セグメント間取引消去22,635千円、棚卸資産の調整額12,461千円、その他△11,705千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	日本	インド ネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	2,050,752	1,153,204	148,459	338,055	344,164	116,157	37,288	4,188,081
精密刃具類	1,707,433	67,069	82,322	29,074	11,489	670	3,919	1,901,980
丸鋸類	3,503,851	505,942	834,992	702,182	463,731	252,594	586,912	6,850,207
商品他	301,607	36,114	27,869	3,328	10,661	7,591	415	387,587
顧客との契約 から生じる収 益	7,563,645	1,762,330	1,093,644	1,072,640	830,046	377,013	628,535	13,327,857
外部顧客への 売上高	5,254,494	974,936	1,093,617	1,071,976	396,507	377,013	67,343	9,235,890
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,309,151	787,394	26	664	433,538	—	561,191	4,091,967
計	7,563,645	1,762,330	1,093,644	1,072,640	830,046	377,013	628,535	13,327,857
セグメント利益 又は損失(△)	89,934	131,482	36,869	11,551	15,686	△1,089	11,131	295,567

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	43,017	4,231,099	△990,980	3,240,118
精密刃具類	31,271	1,933,252	△135,345	1,797,906
丸鋸類	456,815	7,307,023	△2,711,442	4,595,581
商品他	10,474	398,062	△254,288	143,773
顧客との契約 から生じる収 益	541,580	13,869,437	△4,092,057	9,777,380
外部顧客への 売上高	541,490	9,777,380	—	9,777,380
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	4,092,057	△4,092,057	—
計	541,580	13,869,437	△4,092,057	9,777,380
セグメント利益 又は損失(△)	9,839	305,406	129,791	435,198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額129,791千円には、セグメント間取引消去65,450千円、棚卸資産の調整額66,215千円、その他△1,874千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。